



Title	安東璋二教授 研究業績
Author(s)	
Citation	語学文学, 34
Issue Date	1996
URL	http://s-ir.sap.hokkyodai.ac.jp/dspace/handle/123456789/8361
Rights	本文ファイルはNIIから提供されたものである。

安東 璋二 教授

略 歴

- 昭和 七年一月二二日 函館市に出生
- 昭和三〇年 三月 北海道学芸大学一類文科卒業
- 昭和三〇年 四月 北海道森高等学校教諭
- 昭和三六年 四月 早稲田大学大学院文学研究科修士課程日本文学専攻入学
- 昭和三八年 三月 同大学院同研究科同課程修了(文学修士)
- 昭和三八年 四月 北海道函館北高等学校教諭
- 昭和三九年 四月 函館工業高等専門学校講師
- 昭和四三年 四月 同高等専門学校助教
- 昭和四三年一〇月 北海道教育大学講師
- 昭和四五年 四月 同大学助教
- 昭和五一年 四月 同大学教授
- 昭和六二年 四月 北海道教育大学附属図書館函館分館長併任(平成二年三月まで)
- 昭和六二年一月 北海道教育大学函館国語会会長
- 平成 二年 四月 北海道教育大学函館分校主事併任(平成六年三月まで)
- 平成 八年 三月 北海道教育大学教授退官

研究業績

- 著 書(単著)
- 私論夏目漱石―『行人』を基軸として― おうふう 平7
- 著書(共著)
- 伊藤整、亀井勝一郎の文学 北海道文学館 昭45
- 戦後の文学 桜楓社 昭48
- 論文集収録
- 求道者の美意識―亀井勝一郎の問題 有精堂 昭52
- (日本文学研究資料叢書「日本浪漫派」)
- 『行人』の世界―その挫折の意味 桜楓社 平3
- (漱石作品論集成第九巻「行人」)
- 論文(抄)
- 漱石私論(一)〜(五) 人文論究 23、24、25、33、35 昭38〜50
- 風の文学―坂口安吾について― 表現11 昭40
- 『吾輩は猫である』論 国文学14巻5号 学燈社 昭44
- 啄木のアイロニー―その近代的自意識の位置―
- 北海道教育大学紀要20巻10号 昭44
- 鷗外の方法―『舞姫』と『半日』の間― 語学文学11 昭48
- 森鷗外と森林太郎―「鷗外漁史とは誰ぞ」と「長谷川辰之助」― 語学文学15 昭52
- 漱石受容の問題―研究史への一視点― 国学院雑誌88巻6号 昭62
- 亀井勝一郎の遍歴相 日本学12 名著刊行会 昭63
- 啄木の系譜―その函館時代の意味など― 函館国語9号 平5
- 漱石の時間―(継統中)とへ―(体二様の生)― 語学文学34 平8